



文化・芸術が人の健康に与える
ウェルビーイングの効果について
意見交換するシンポジウム

「清流の国ぎふ」文化祭 2024

文化的処方プログラム シンポジウム

2024 **10/16** **水**

14:30~17:00 (予定) 13:30開場

会場 | 岐阜県庁1F ミナモホール
(岐阜市教田南2-1-1)

ファシリテーター



「清流の国ぎふ」文化祭2024 総合プロデューサー
東京藝術大学学長
日比野 克彦氏

パネリスト



東京藝術大学 社会連携センター教授
共生社会をつくるアートコミュニケーション推進拠点
プロジェクトリーダー
伊藤 達矢氏



岐阜大学大学院教授
塩入 俊樹氏



中部学院大学人間福祉学部准教授
東京藝術大学 地域コーディネーター
水野 友有氏

入場無料
【定員350名】
※先着順。定員になり次第、
締め切らせていただきます。

手話通訳が
あります

関連装置展示コーナー 場所/岐阜県庁1F ホワイエ **【申込不要・参加無料】 10:00~17:30(予定)**

共創拠点(東京藝術大学や企業) 参画団体が開発したテクノロジーを体験



笑顔測定 (NEC)
カメラに映った人物の「笑顔度」をスコープで測定。



みどころウォーク (大日本印刷)
手ずりをたどりながら実際に移動することでVR空間内を動き回ることができる鑑賞システム。



みどころキューブ (大日本印刷)
文化財・芸術作品などについて、キューブ(立方体)状のインタフェースの中に配置し、テーマ関連性など多様な視点から紹介できる鑑賞システム。



Bubbles (東京藝術大学)
自分の影の動きで投影された映像(シャボン玉)を動かすことができる、ハイブリット影遊びの参加型メディアアート。

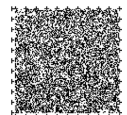


空間投影×アニメーション (東京藝術大学)
投影されたアニメーションが人の動きに合わせて、目を驚ましたり、目で追ったりする、プロジェクションマッピング。

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭 2024
ともに・つなぐ・みらいへ〜清流文化の創造〜
2024年10月14日(水)〜11月24日(日)



音声コード
Uni-Voice
専用読み取り装置やスマホアプリを利用して情報を音声で聞くことができます。



【行事名】

文化的処方プログラムシンポジウム

【期間】

10月16日(水)

【場所】

岐阜県庁 1F ミナモホール

【主催】

文化庁、厚生労働省、岐阜県

「清流の国ぎふ」文化祭 2024 実行委員会

【情報保障】

手話通訳 あり

【事前申込】

必要